



# 飲酒運転交通事故の発生状況

## 平成29年中

～飲酒運転 しない させない 許さない～

### 1 発生状況

平成29年中の飲酒運転交通事故（原付以上の人身事故）は、死亡事故は1件1人で、前年同期と比較して3件3人の減少となりましたが、負傷者数は増加しました。

【 飲酒運転交通事故の発生状況 】

(平成29年中)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	71	1	1	12	85	97
前年	73	4	4	8	83	91
増減	-2	-3	-3	4	2	6
率	-2.7	-75.0	-75.0	50.0	2.4	6.6

### 2 自治体別発生状況 (平成29年中)

平成29年中の飲酒運転事故の発生状況については、発生地別では宮城野区が10件（構成率14.1%）と最も多く、第1当事者の居住地別では、青葉区が9件（構成率12.7%）で最も多くなっています。

発生地			
自治体名	件数	前年比	構成率
青葉区	9	-4	12.7
宮城野区	10	5	14.1
若林区	3	-2	4.2
太白区	3	-2	4.2
泉区	8	1	11.3
石巻市	9	5	12.7
塩釜市	4	1	5.6
気仙沼市	2	1	2.8
白石市	0	-1	0.0
名取市	0	-1	0.0
角田市	2	2	2.8
多賀城市	2	-1	2.8
岩沼市	0	0	0.0
登米市	2	-1	2.8
栗原市	1	-2	1.4
東松島市	0	-1	0.0
大崎市	6	2	8.5
富谷市※	2	2	2.8
蔵王町	0	-1	0.0
七ヶ宿町	0	0	0.0
大河原町	1	0	1.4
村田町	0	0	0.0
柴田町	0	0	0.0
川崎町	0	0	0.0
丸森町	0	0	0.0
亘理町	1	0	1.4
山元町	0	-1	0.0
松島町	0	-1	0.0
七ヶ浜町	0	-1	0.0
利府町	1	-1	1.4
大和町	0	-1	0.0
大郷町	1	1	1.4
大衡村	1	1	1.4
色麻町	1	1	1.4
加美町	1	1	1.4
涌谷町	1	1	1.4
美里町	0	-2	0.0
女川町	0	0	0.0
南三陸町	0	0	0.0
高速等	0	-3	0.0
計	71	-2	100.0

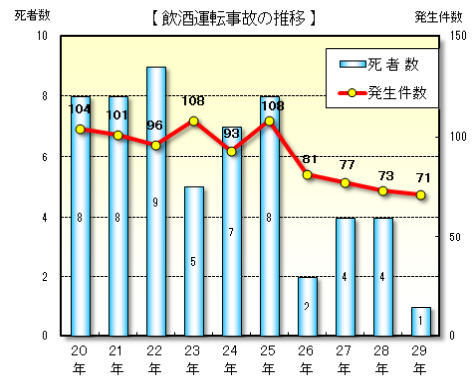
※富谷町を含む

第1当居住地			
自治体名	件数	前年比	構成率
青葉区	9	4	12.7
宮城野区	8	4	11.3
若林区	2	-1	2.8
太白区	4	-1	5.6
泉区	6	-3	8.5
石巻市	8	3	11.3
塩釜市	2	0	2.8
気仙沼市	2	2	2.8
白石市	0	-2	0.0
名取市	1	-1	1.4
角田市	2	2	2.8
多賀城市	1	-3	1.4
岩沼市	0	0	0.0
登米市	2	0	2.8
栗原市	1	-1	1.4
東松島市	0	-1	0.0
大崎市	7	4	9.9
富谷市※	1	-1	1.4
蔵王町	0	-2	0.0
七ヶ宿町	0	0	0.0
大河原町	0	0	0.0
村田町	1	1	1.4
柴田町	1	0	1.4
川崎町	0	0	0.0
丸森町	0	0	0.0
亘理町	1	-1	1.4
山元町	0	-1	0.0
松島町	1	1	1.4
七ヶ浜町	3	1	4.2
利府町	1	-1	1.4
大和町	1	0	1.4
大郷町	1	0	1.4
大衡村	0	0	0.0
色麻町	0	-1	0.0
加美町	2	2	2.8
涌谷町	0	-1	0.0
美里町	1	-3	1.4
女川町	1	1	1.4
南三陸町	0	-1	0.0
県外等	1	-2	1.4
計	71	-2	100.0

### 3 飲酒運転事故の発生推移 (基礎データ平成20年～平成29年)

飲酒運転事故の発生推移を見ると、発生件数、死者数ともに平成19年までは大幅な減少傾向にありましたが、20年以降は、発生件数の減少は鈍化しており、死者数は下げ止まり状態で増減を繰り返しています。

平成29年は、発生件数・死者数ともに記録の残る昭和42年以降最少となりました。



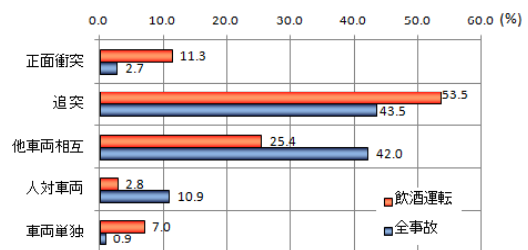
### 4 飲酒運転事故の発生特徴等 (基礎データ平成29年中)

#### (1) 追突事故の発生が多い

事故類型別では、追突が最も多く、半数以上(71件中38件、53.5%)を占めました。

また、自車の走行車線を逸脱しての正面衝突や車両単独事故の割合も、全事故と比較して高くなっています。

【事故類型別発生状況(構成率)】

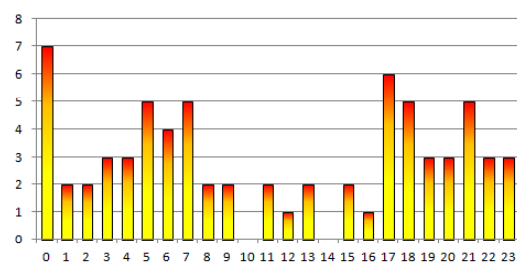


#### (2) 深夜と明け方、夕方の発生が多い

時間別では、深夜の0時台(7件)が最も多く、次いで17時台(6件)に多発しました。

昼夜別(日の出、日の入り時刻を基準)では、週末の土・日曜日は夜間の発生が75.0%(32件中24件)を占めたのに対し、月～金曜日は昼間の発生が56.4%(39件中22件)を占めており、二日酔いによる飲酒事故にも注意が必要です。

時間別飲酒運転事故発生件数



#### (3) 日曜日の発生が多い

曜日別では、日曜日が23件で最も多くなりました。6時間ごとの時間帯別に分析すると、特に日曜日の0～6時に11件と多発しました。そのほか、水曜日の18～24時と木曜日の6～12時に7件と発生が多くなりました。

#### (4) 40歳代の飲酒運転者が多い

第1当事者(飲酒運転者)の年代別では、40歳代が17人(23.9%)で最も多く、次いで50歳代(16人、22.5%)が多くなりました。

※高齢者は65歳以上

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	計	うち高齢者
人数	1	13	12	17	16	10	1	1	71	7
構成率	1.4	18.3	16.9	23.9	22.5	14.1	1.4	1.4	100.0	9.9
うち死亡事故				1					1	

#### (5) 飲酒運転事故は死亡事故率が高い (基礎データ平成20年～平成29年)

飲酒運転事故の死亡事故率(事故件数に占める死亡事故件数の割合)についてみると、飲酒なし事故と比較して、死亡事故率が約8倍(7.5倍)に達しており、飲酒運転は死に至る(死亡事故となる)危険性が極めて高いことが分かります。

【交通事故致死率比較】

